

東方紅

カヤド
改題
No.105
S.45
5.13

全この理互学部の皆さんと 習志野から移りてきた移
行生の皆さんに米国のカニボリア軍事介入に対して、差別
研から緊急アピールを行いたいと思ひます。

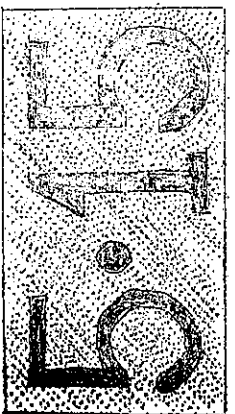
4月21日 ベトナム民族解放闘争の胜利的推進を恐れ
米帝国主義者は「南ベトナム駐留軍の生命を守る」とい
う名目で、一九五四年のジュネーブ協定以来半世紀であ
つたところのカニボリアへの侵略を開始したのです。過去
5年間にわたつて米帝国主義者は世界制覇の野望を實現
し、インドネシア人民を抑圧、搾取するため新植民地主義化
し、兵隊軍事基地化することにより、ベトナム・カニボ
リア・フィリピン人民の独立・平和・中立の願望を半にふみ
にじり、ベトナム人民共和国の主権と安全を犯してきました。
去る3月18日、米帝国主義者と結託したロニール一派は
アムクを襲撃しクーデターを企て、カニボリア領内
のカニボリア人民、カニボリア人民を虐殺しました。しかし
ながら一七六・九・三〇のインドネシア反革命クーデター
とその後の30万のインドネシア人民を犠牲の血の教訓は、
カニボリアへの英雄的未だなきは、四月二五・二六日
の北ベトナム政府・南ベトナム民族解放戦線・オーストラ
リア戦線・パテトオとカニボリア民族統一戦線の四者会議
で、米帝国主義者は、意図的に、米帝国主義に、今ま
でと違つた全く新しい発展段階を歩みだしています。シヤ
ーラ平原におけるパテトオの完全制圧、ベトナム民族解
放戦線の奮闘攻撃、カニボリア民族統一戦線のロニール
政敵に対する奮闘は、インドネシア全域における人民の勝利を
典型的なものと見れば、恐れなき米帝国主義者は4
月21日カニボリアへの侵略を開始するを得たので
す。私たちはこの米帝国主義のカニボリア侵略は、イン
ドネシア人民の解放闘争の胜利的推進を恐れ、長期の悪
あがきであることを確認しようと思ひます。

日大理互学部 差別問題研究会

そこで4月3日には北爆再開される5ヶ所沖繩の基地が
らびだして、私たちと同じアジア人民であるインドネ
シア人民を虐殺しているのです。7ヶ所沖繩の帝国主義的返還政
府は日米共同防衛に明けなよう、^{日帝は}積極的にアジア侵略を
開始しようとしているのです。その証拠に佐藤内閣は米帝
国主義のカニボリア侵略を「自の権益はやむを得ない」
といつて、いまだに暴言を吐き、またしても「大東亜共栄
圏」の野望をいだき、6ヶ所、7ヶ所、インドネシアのシヤカルタ
で開れるところのアジア人民会議にのぞもうとしているの
です。その会議においてベトナム参加と日本帝国主義
は具体的に米帝のカニボリア侵略政策をまじ、日米共同
防衛に基き、意識的にアジアへの侵略を遂行しようとしていま
す。

私たちはアメリカ帝国主義と日本帝国主義が、侵略と人
民抑圧に自らの道路を求めてその敵にひんした境域が
らられるために、カニボリア侵略、ベトナム北爆再開
しようとしていることに対し、断固拒絶し、日本帝国主義の
アジア会議参加、愛知訪インドネシア(シヤカルタ)を阻
止しようとは

- 米帝のカニボリア侵略弾劾！
- アジア会議粉碎！ 愛知訪シヤカルタ
阻止！
- インドネシア民族解放闘争の勝利を、
- 安保沖繩闘争勝利！ 日米共同声
明粉碎！
- 日大闘争勝利！ 地区解放闘争勝利！
- 日大アウシニヒツ体制打破！



愛知訪シヤカルタ
阻止闘争に
決起せよ！

移行生 会員募集集中
差別問題研究会に来たは、
連絡先 八号館 841 教室